

Kurashiki
Virtuoso
vol.5
A Concert of The 34th
KURASHIKI MUSIC FESTIVAL

タンゴ！だけじゃない。

バツハからガーシュウィンまでこなせる、幅広いバンドネオンの音色。
国内最高の奏者・三浦一馬と倉敷のアーティストとの共演、
この日きつと何かが起る！

倉敷の ヴィルトワーズ Vol.5

松本和将 — ピアノ
Kazumasa Matsumoto : Piano

三浦一馬 — バンドネオン
(ゲストアーティスト)
Kazuma Miura : Bandoneon

Guest

守屋剛志 — ヴァイオリン
Tsuyoshi Moriya : Violin

黒川侑 — ヴァイオリン
Yu Kurokawa : Violin

向井航 — チェロ
Wataru Maki : Violoncello

Program

- ピアソラ 「リベルタンゴ、ブエノスアイレスの冬、オブリヴィオン」
- ロドリゲス 「ラ・クンパルシータ」
- ガーシュウィン 「ラプソディ・イン・ブルー」
- バツハ 「2つのヴァイオリンのための協奏曲」

※都合により曲目・曲順が変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

バンドネオンの魅力

2020 3/15 (日)

会場 | 倉敷市芸文館 ホール

時間 | 開場13:30 開演14:00

全席
指定

一般
2,000円

大学生以下
1,000円

当日各500円増

就学前のお子様のご入場は
ご遠慮ください。

発売日 | アルスくらしきチケット会員先行発売 12月10日(火) | 一般発売 12月12日(休)

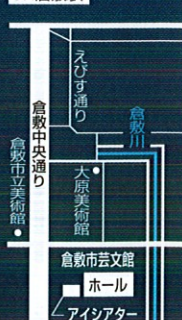
主催/倉敷市・倉敷市文化振興財団・山陽新聞社 共催/倉敷市教育委員会 協賛/公益財団法人JFE21世紀財団



PROFESSIONAL
ARTIST
PERFORMANCES

平成30年7月豪雨災害
復興支援事業

JR倉敷駅



ご予約
お問合せ

チケット取り扱い
プレイガイド

アルスくらしきチケットセンター

TEL.086-434-0010 (営業時間9:00~17:00)
土・日・祝日は休み

インターネット予約/倉敷音楽祭2020特設サイト

<https://arsk.jp/m-fes/>



【倉 敷】倉敷市芸文館、インディスク(天満屋倉敷店4F)

【岡 山】ぎんざや、岡山シンフォニーホールチケットセンター、岡山県音楽文化協会

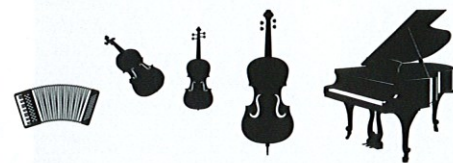
【その他】チケットぴあ0570-02-9999 (Pコード:169-902) <https://t.pia.jp/>

バンドネオンの魅力

Kurashiki
Virtuoso
vol. 5

A Concert of The 34th KURASHIKI MUSIC FESTIVAL

倉敷のヴィルトゥオーゾ Vol. 5



©井村重人

Guest

ゲストアーティスト

三浦一馬 バンドネオン

Kazuma Miura ; Bandoneon

1990年生まれ。2006年に別府アルゲリッチ音楽祭にてバンドネオンの世界的権威ネストル・マルコーニと出会い、自作CDの売上でアルゼンチンに渡航。現在に至るまで師事。07年、井上道義・神奈川フィルハーモニー管弦楽団との共演でマルコーニのバンドネオン協奏曲《Tangos Concertantes》を日本初演。このオーケストラ・デビュー以降、国内の主要オーケストラと共演を重ねている。08年10月、イタリアで開催された第33回国際ピアノ・ソラ・コンクールで日本人初、

史上最年少で準優勝を果たす。11年5月には別府アルゲリッチ音楽祭に出演し、アルゲリッチやバシュメットら世界的名手と共演、大きな話題と絶賛を呼んだ。12年にはマルコーニと東京・兵庫・名古屋で共演を果たし、白熱した演奏で聴衆を沸かせた。14年度出光音楽賞を受賞。16年にはデビュー10周年を迎え、7月には大阪フィルハーモニー交響楽団第500回定期演奏会でバカロフ作曲「ミサ・タンゴ」のソリストに抜擢され好評を博す。

17年、自らが率いる室内オーケストラ「東京グランド・ソロイスト」を結成、同年11月には埼玉県「久喜市きき親善大使」に就任。2018年10月キングレコードより、全編ピアノ作品によるシンテート（五重奏）編成の最新盤「Libertango」をリリース。リリース記念を兼ねた全国11か所を回るシンテート・ツアーを成功に導く。同年12月には映画「ピアノソラ 永遠のリベルタンゴ」の広報大使を務める。現在、若手実力派バンドネオン奏者として各方面から注目されている。使用楽器は、マルコーニより譲り受けた銘器、1938年製「Alfred Arnold」。



松本和将 ピアノ

Kazumasa Matsumoto ; Piano

幼い頃よりピアノに目覚め、高校在学中に「ホロヴィッツ国際ピアノコンクール」第3位など、国内外のコンクールで上位入賞。1998年19歳で「第67回日本音楽コンクール」優勝。併せて増沢賞はじめ、全賞を受賞。2001年ブゾーニ国際ピアノコンクール第4位、2003年エリザベト王妃国際音楽コンクール第5位入賞。これまでにプラハ交響楽団、プラハフィル、ベルギー国立オーケストラ、読売日響、日本フィル、新日本フィル、東京交響楽団、東京フィルなど、多くのオーケストラと

共演。2009年から3年連続のオールショパンプログラム全国ツアーを行い、2016年より「松本和将の世界音楽遺産」と名付けたリサイタルシリーズを開始。室内楽にも積極的に取り組み、イザベル・ファウスト、前橋汀子、宮本文昭など多くの名演奏家と共演。2010年より上里はな子、向井航とピアノトリオを結成し、2012年には東京、京都、広島を始めとする6都市で全国ツアーを行い、2016年には京都フィルとベートーヴェンの三重協奏曲を共演。これまでに2枚のレコード芸術特選盤（「展覧会の絵」「後期ロマン派名曲集」）を含む20枚のCDをリリース。東京芸術大学非常勤講師（2008～2012）、くらしき作陽大学特任准教授、名古屋音大ピアノ演奏家コース特任准教授として、後進の指導にもあたっている。

[公式HP] <http://www.kaz-matsumoto.com>

[公式ブログ] <http://www.kaz-matsumoto.cocolog-nifty.com>



©Neda Navaee

守屋剛志 ヴァイオリン

Tsuyoshi Moriya
Violin

倉敷市真備町出身、ベルリン在住。ローム・ミュージックファンデーションより助成を受け、東京藝大、同大院、国立ベルリン音大ハンスアイスラー卒業。ヴァイ

オリンを小山洋治、田淵洋子、梶山久美、浦川宜也、G. ブレー、S. ピカールの各氏に、室内楽を岡山潔、山崎伸子、O. ヴィレ、E. フェルトの各氏に師事。青山音楽賞新人賞、同バロックザール賞、岡山芸術文化賞グランプリ、福武文化奨励賞、エネルギー音楽賞、マルセン音楽賞受賞。11年クァルテット ベルリン・トウキョウを創立、同年ミュンヘン国際コンクールで特別賞受賞。14年オランダのオルランド国際コンクールにて優勝、アムステルダムコンサートヘボウにデビュー。15年フランツ・シューベルトと現代音楽国際コンクール（オーストリア）第3位。カール・ニールセン国際室内楽コンクール（デンマーク）第2位、併せてカール・ニールセン賞を受賞。松尾学術財団から助成の他、(株)日本ヴァイオリンより名器特別賞与者としてカロルス・トノーニ（1725）を貸与されている。日欧の音楽祭に多数出演し、エクサン・プロヴァンス音楽祭からHSBC賞2015を授与。現在、札幌・六花亭ふきのとうホールレジデンスの他、ベルリン十字教会のレジデンスも務めている。



黒川侑 ヴァイオリン

Yu Kurokawa
Violin

2006年日本音楽コンクール第1位、岩谷賞（聴衆賞）他3つの特別賞を受賞。2015年ドルフォ・リビツァー国際ヴァイオリンコンクールでAnna Piciulin 特別賞、2016年仙台国際音楽

コンクールで聴衆賞を受賞。これまでにスイス・ロマン管弦楽団、スペイン国立管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団など国内外のオーケストラとの共演、リサイタルなど多くの演奏会に出演。京都市交響楽団定期演奏会（広上淳一氏指揮）での演奏がCD「名曲ライブシリーズ」に収録された。また国際音楽祭ヤング・ブラハに招待され、ファイナルコンサート（ドヴォルザークホール）で、プラハ室内交響楽団と共演。その後再度招待され、ワルトシュタイン宮殿を始め、チェコ各地で演奏会に出演して高い評価を受ける。ウィーン、ブリュッセルで研鑽を積んだ後、桐朋学園大学院大学（修士課程）修了、現在エコール・ノルマル音楽院で勉強を続けている。工藤千博、P. ヴェルニコフ、漆原啓子、堀米ゆずり、藤原浜雄、S. ルセフ、F. シゲティの各氏に師事。倉敷市芸術文化奨励賞、岡山芸術文化賞グランプリ、音楽クリティック・クラブ賞奨励賞、京都府文化賞奨励賞、京都市芸術新人賞、青山音楽賞、出光音楽賞を受賞。



向井航 チェロ

Wataru Mukai
Violoncello

1980年札幌出身。東京芸術大学音楽学部附属音楽高校卒業。同大学を経てハンガリー国立リスト音楽院に留学。帰国後、Vn室屋光一郎と「クラスタシア」を結

成。5枚のアルバムをリリース。ソリストとしてこれまで札幌交響楽団、関西フィル、Georgia state Sinfonietta、Tbilisi konservatorium orchestra、京都フィルと共演。国内外のオーケストラからゲスト首席奏者として招聘され、Georges Enesco Festival、Tbilisi baroque festivalなど世界各国で演奏する。映画「ラプラスの魔女」、NHK大河ドラマ「真田丸」でのチェロソロ、久石譲「弦楽四重奏曲第1番」など、劇伴音楽、CM、J-pop、海外映画、海外アーティストの多くの作品で録音している。向井航ストリングス（向井航と仲間たち楽団）を主宰。2012年、Martin Stanzeleitとチェロロックバンド「CANTHANA」を結成し、アルバムCD「Cellmate」「A minor attitude」をリリース。関西フィルハーモニー管弦楽団特別契約首席チェロ奏者、まつきとわたるとはなこのトリオ、Future orchestra classics（旧ナガノチェンバーオーケストラ）メンバーとしても活躍中。